

赤ちゃんの おしゃべり

BOOK



同志社大学赤ちゃん学
研究センター教授

小西行郎

すくすくクリニック
こにし院長

小西 薫

本文マンガ
齊藤 恵

小西行郎 (こにし ゆくお)

同志社大学赤ちゃん学研究センター教授。日本赤ちゃん学会理事長。1947年香川県生まれ。京都大学医学部卒業後、同大学付属病院未熟児センター助手となる。1983年より、福井医科大学小児科講師、1988年同大学助教授となる。1989年より、文部省在外研究員としてオランダ、フローニンゲン大学にて発達行動学を学ぶ。1999年、埼玉医科大学小児科教授、2001年、東京女子医科大学・乳児行動発達学講座を経て、2008年10月より現職。主な著書に『これで安心、0歳からの育児』（法研）、『赤ちゃんの脳科学』（集英社新書）、『乳児保育の基本』共著（フレーベル館）、『赤ちゃんのしぐさBOOK』『赤ちゃんの遊びBOOK』『赤ちゃんのからだBOOK』（以上、海竜社）ほか多数。

小西 薫 (こにし かおる)

すくすくクリニックこにし院長。1948年京都市生まれ。大阪医科大学卒業後、京大小児科学教室入局。1984年から18年間福井総合病院で小児神経科医として勤務。2002年からさいたま市心身障害総合センターひまわり学園にて障害児診療、療育に携わり、2006年より2010年3月まで所長。三男一女の母。著書に『乳児保育の基本』共著（フレーベル館）、『赤ちゃんのしぐさBOOK』『赤ちゃんの遊びBOOK』『赤ちゃんのからだBOOK』（以上、海竜社）などがある。

齊藤 恵 (さいとう めぐみ)

マンガ家・イラストレーター。20代はグラフィックデザイナー、子どもが生まれたのを機に、マンガ家&イラストレーターにシフト。のんきな一男、我が道を行きすぎる一女の母。主に子ども、フィットネス、ペットの分野で執筆中。著書に『子育てはつらいよ』（家の光協会）がある。

赤ちゃんのおしゃべり BOOK

2010年5月15日 第一刷発行

著者 小西行郎 小西薫

発行者 下村のぶ子

発行所 株式会社 海竜社

〒104-0045

東京都中央区築地2-11-26 MKビル7階

電話 03-3542-9671（代表）

FAX 03-3541-5484

郵便振替口座 00110-9-44886

ホームページ <http://www.kairyusha.co.jp/>

印刷・製本所 株式会社 シナノ

本文マンガ・イラスト／齊藤恵

編集協力／(株)ゼビロス・三枝節子

装丁／こやまたかこ

カバーイラスト／谷口シロウ

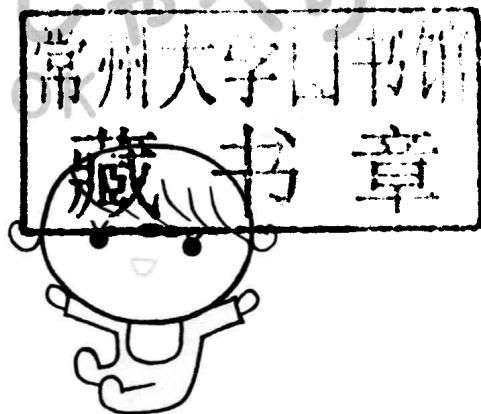
本文デザイン／諫山圭子

落丁本・乱丁本はおとりかえします

© 2010, Yukuo Konishi / Kaoru Konishi, Printed in Japan

ISBN 978-4-7593-1135-8

赤ちゃんの
おしゃべり
BOOK



同志社大学赤ちゃん学
研究センター教授

小西行郎

すくすくクリニック
こにし院長

小西 薫

本文マンガ
齊藤 恵

海電社

◀ はじめに

赤ちゃんとお母さんとの最初のやりとりは無意識から始まる。そう教えていただいたのは京都大学みよとうの明和政子先生からでした。生後までもない赤ちゃんが泣いたりすると、お母さんは無意識のうちに胸を広げておっぱいを赤ちゃんの口に含ませる。あるいは赤ちゃんがそつとお母さんに触れるとお母さんが触り返す。

そうした自然なやりとりで、赤ちゃんとお母さんの会話はすでに始まっているのです。

それ以降もコミュニケーションは、実は赤ちゃんのリードで行われていることが多いようです。一歳ごろになって赤ちゃんが言葉を話すようになるのは、けっしてお母さんや周囲の人たちが語りかけたからだけではありません。むしろ赤ちゃんの発する言葉、つまり声や表情などをうまく受けとめることで、もつとしゃべってみようかなという気持ちにさせるほうが重要なのです。

赤ちゃんは話したいのです。お母さんが思っている以上に。だからきちんと受けとめてあげてください。

赤ちゃんにどう接したらいいのか、どのように声をかけたら

いいのか、と悩んでいるお母さん。赤ちゃんがボーっとしていたらちよつかいを出してみたらどうでしょう。時にはじらしたり、困らせてみたつておもしろいと思うのです。

最近、なぜか赤ちゃんとお母さんのやりとりが自然ではない、と感じることが少なくありません。赤ちゃんとうまくやりとりができないお母さんが、愛情のないお母さんだとは思いません。むしろ、大切にするあまりにぎこちなくなることのほうが多いようです。

赤ちゃんは思いのほかたくましく、困ったことがあっても解決しようと試みます。ですから、この本では少し赤ちゃんにいたずらすることも書いておきました。

コミュニケーションは、当然のことながら双方向でなければなりません。ですから、赤ちゃんばかりではなく、どうぞお母さんも心から楽しんでください。

小西行郎
小西 薫

はじめに……………2

おしゃべりの素 アーアー、クークーのころ

無意識にほほえみかけてます……………	10
表情でおしゃべりしています……………	12
抱っこされたらお母さんの胸にタッチ……………	14
見た物に思わず手が出ちゃう……………	16
仰向け寝だから見つめ合える……………	18
泣いたらまずは応えてあげる……………	20
「アーアー」「な〜に？」を楽しもう……………	22
お母さんの声はちゃんとわかってる……………	24
音と言葉の違いをわかってる……………	26
母国語をきちんと聞き分けてる……………	28
英語の R と し も聞き分けてる……………	30
リズムやメロディーがわかってる……………	32
赤ちゃんの表情は言葉の代わり……………	34
他の子に共感してつられ泣き……………	36
お母さんの表情をまねっこ……………	38
おっぱいを飲みながら息ができる……………	40
スペースがないと声は出ません……………	42
気持ちが悪って言葉が生まれる……………	44

おしゃべりの種 バー、ダーのころ

- コミュニケーションは赤ちゃんが主導している……………46
- 「アーアー」クレーイングでおしゃべり……………48
- 自然に息が合って絆ができる……………50
- やりとりで気持ちの切り替え……………52
- そろそろバリエーションがほしい……………54
- 詰まったら赤ちゃんの真似を！……………56
- 言葉にしながら手助けを……………58
- 動きを言葉にしてみよう……………60
- ネタを探しに散歩に出よう……………62
- おしゃべりの「素」に比べ、コミュニケーションを楽しもう！……………64
- 赤ちゃん言葉は聞き分けやすい……………66
- リズムカルな繰り返しが好き！……………68
- 「なんとかしてほしい」と声を出す……………70
- 離乳食と口腔の育ちの関係……………72
- モグモグは舌をいろいろな動かせる証……………74
- 体験と言葉をつなげてあげよう……………76
- 「バー」「ダー」たたいま発声練習中！……………78
- 赤ちゃんは触覚で学習している……………80

なめることは大事な体験学習……………82

言葉と表情は一致させて話しかけよう……………84

大きな声で人の気をひきます……………86

移動する時はひと声かけてから……………88

やきもちは大切な心の育ちです……………90

向かい合い目を合わせて遊ぼう……………92

散歩で経験を共有しよう……………94

話をする人の口元を見つめてます……………96

「ダメ」がわかるには表情も大切……………98

「気持ち伝えたい」が言葉の始まり……………100

指さして思いを伝えたい……………102

名前を呼ばれると手をあげます……………104

指さしながら話しかけてみよう……………106

身振り手振りでおしゃべりしてます……………108

言葉の一部分の音をまねっこ……………110

おしゃべりの「種」に共感というお水をたっぷりあげよう！……………112

おしゃべりの芽 ママ、パパ、アッターのいろ

雰囲気を読んで行動してます……………114

歌って手遊びが大好き！……………116

擬音の繰り返しが好き …… 118

「あれ」「こっち」指さして応えます …… 120

気持ちに合った言葉は覚えやすい …… 122

「ちょうだい」がわかって渡せます …… 124

「お耳はどこ？」がわかって応えます …… 126

一人でも楽しく遊べます …… 128

お付き合ひも上手にできます …… 130

「どっちがいい？」に喜びます …… 132

お母さんの気持ち読めます …… 134

「やりたい」でも「ダメ」で悩めます …… 136

話しかけは気持ちが落ち着いたら …… 138

「いってきます」＆「たたいま」 …… 140

動作で二語文を話します …… 142

いよいよ初めてのおしゃべり！ …… 144

言葉にならない言葉がいっぱい …… 146

絵本を使って会話を楽しもう …… 148

テレビやDVDをツールにして …… 150

寝物語はイメージを育てる …… 152

単語は爆発的に増えてきます …… 154

赤ちゃん同士の交流を …… 156

相手の好きな物がわかります …… 158

おしゃべりトーク 楽しみながら「ゆっへん」「つつ

物を何かに見立てて遊べます …… 160

大人をからかうユーモア …… 162

「いやー」「ダメー」が始まると …… 164

赤ちゃんと同士で遊び合う …… 166

おしゃべりの「芽」は優しさと楽しさが大好き！ …… 168

「おしゃべり」への関心は高い …… 170

コミュニケーションは育つようにできている …… 174

言葉はコミュニケーションのためのツール …… 178

赤ちゃんは忙しい …… 183

発達の仕方は直線的ではない …… 186

不自然な外国語環境は意味がない …… 190

赤ちゃんと遊ぶことこそ大切 …… 195

赤ちゃんはほどよい抵抗が好き …… 199

「いや」には複雑な思いがある …… 201

絵本はおもしろい …… 204

赤ちゃんは大人の話の内容を理解しているか …… 209

おわりに …… 212



Part1

おしゃべりの 素

アーアー、 クークーのころ

生まれたばかりでも、あくびをしたり、ほほえんだり、泣いたり……と
いろいろな表情をします。赤ちゃん
は表情でおしゃべりしているのです。

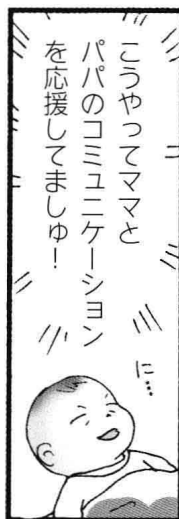
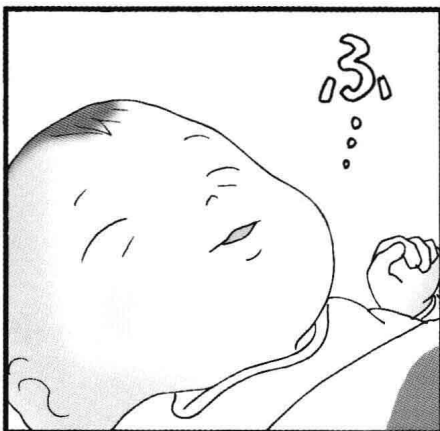
1～6カ月

1カ月～6カ月

無意識に ほほえみ かけてます



生まれたばかりの赤ちゃんは眠りながらほほえみます。(既刊『赤ちゃんのしぐさBOOK』P11参照)
このほほえみを目にした大人たちは思わず「かわいい!」と自然に笑顔になり声をかけたくなるものです。このころの赤ちゃんは、意識して大人に笑いかけているわけではありませんが、こうして周囲の大人からコミュニケーションを引き出しているのです。そして、大人の反応を見ることが、次に赤ちゃん自身がまわりの大人に意識的に笑いかけるようになるための力になっていくのです。



1 ヵ月～6 ヵ月

表情で おしゃべり しています



生まれたばかりの赤ちゃんを見ると、泣き顔になったり、声を出したり、何かを追うような目線をしたり、さまざまな表情をします。大人たちは、その表情を見て思わず声をかけたり、抱っこをしたくなったりします。さらに赤ちゃんの気持ちを読み取ろうとしたり、何かをしてあげたいと思います。このころの赤ちゃんは表情で「おしゃべり」して、大人に対してシグナルを出しているのです。四六時中は無理でしょうけれど、一日に時間を決めてでも、向き合って赤ちゃんからのシグナル行動に 대응してみましょう。まさにコミュニケーションの始まりです。



1カ月～6カ月

抱っこされたら お母さんの 胸にタッチ

生まれたばかりの赤ちゃんでも、抱っこされたときにお母さんの胸に触っていることが発達行動学の研究で発見されています。重要なことは、このわずかな動きに対するお母さんの反応です。お母さんたちは気づかずとも、ごく無意識に「ハイハイ」と声に出したり、抱っこした赤ちゃんを揺らしたりという行動で応えています。これも、赤ちゃんがお母さんに触ることによって引き出されたコミュニケーション行動なのです。



